

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら 立川若葉町教室		
○保護者評価実施期間	2024年10月5日		～ 2024年11月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 82.10%
○従業者評価実施期間	2024年12月23日		～ 2024年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で療育活動について話し合っていること。	曜日ごとの児童の雰囲気・特性に合った活動を実施。	曜日ごとの活動について改善点はないか等の話し合いを定期的に行うこと。
2	児童主体の活動を実施できるように職員が協力していること。	電車を使って買い物に行くこと等の社会性を育む活動の実施。子ども主体の会議を実施して、その会議で翌週の活動を定めること。	毎回、同じ場所では飽きてしまうので、新しい場所を職員が見つける必要がある。また、子ども主体の会議では時間で終わらせるように職員が見通しを持たせる必要がある。
3	保護者から支援について共感を得られていること。	送迎時等に、保護者に児童の様子を丁寧に伝えていること。また、活動中の児童のできたことを職員がよく見ていること。	活動中の児童の良い面と課題をより多く見つけられるように各職員が児童の様子をよく観察すること。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修等を受講することがあまりない。	他の業務との兼ね合いの為、外部の研修を受講する時間があまりない。	業務の効率化を図り時間を作る為に、余裕を持って療育の準備を行うこと。
2	BCP等のマニュアルや安全計画についての職員間で確認していないこと。	他の業務との兼ね合いの為、BCP等のマニュアルや安全計画について確認をする時間がない。	業務の効率化を図り時間を作り、確認をする機会を定期的に設けること。
3	地域の児童施設等との交流が少ないこと。	コロナの為、交流の機会を作れなかったこと。また、他の業務との兼ね合いの為、他の児童施設等との連絡を取り合う時間がないこと。	今後、児童に合った他の児童施設の行事等を調べて、参加できるかを検討する。また、その際に、他の児童施設との関係性も構築していくこと。